

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 宮内 龍雄

副会長 島田 洋二郎

幹事 佐藤 直子

会計 金子 芳則

2015～2016年度 RIテーマ

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

2015～2016 RI会長 K. R. ラビンドラン

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2872号 (2015年10月21日発行)

今週のプログラム

ガバナー補佐訪問

第7分区 ガバナー補佐 黒田幸一様
(銚子東 RC)

前回例会報告 (10月14日)

点 鐘：宮内 龍雄会長

ロータリーソング：我等の生業

ビジター紹介：

地区米山記念奨学委員会

副委員長山崎浩一様 (佐原香取 RC)

米山奨学生ピョー・サンディ・マウン様
(千葉科学大学・銚子東 RC)



会長挨拶

皆さんこんにちは。今日は私の職業に関係の深い、金属のお話をしたいと思います。その前に物質についての説明が必要になります。物質は有機物と無機物に二分されます。有機物とは加熱すると燃えたり、炭になったりして二酸化炭素を発生するもの(砂糖、紙、プラスチック、木など、人間も有機物にはいります。)です。無機物もさらに、非金属と金属に分けられ、非金属は塩、水、酸素、二酸化炭素、ガラス、石などで、金属は、鉄、アルミニウム、銅、金、銀、マグネシウムなど、沢

山有ります。その中で、最も皆様の身近にあるものが、鉄(steel)です。皆さんは、鉄と言えれば皆同じと思っ



ていると思っますが、とんでもない話で、JIS 日本工業規格では、1500ページの規格書が三冊分有ります。使われる用途によって、全て材質が違ってきます。ただし、主材質は鉄、原子記号の「Fe」です。Feは他の原子と結びやすい性質を持っている為、昔から色々な物質混ぜて利用してきました。一般的なものとして、橋梁やビルなどに使われている、SS400と呼ばれる「構造用圧延鋼板」、機械の駆動軸や歯車などに使われている「機械構造用炭素鋼」呼ばれる、S45Cが有ります。この45という数字は、含有されている炭素量を言います。規格ではS25C～S60C位あり、数字が大きくなるほど硬度が増します。また熱処理(焼き入れ、焼き戻し)をして更に硬度を上げたり、靱性を高めたりすることもできる、便利な材料です。話は変わりますが、小舟木町にあるカモメ大橋はペンキが塗っていないのはご存知ですか？よく見ると、錆びた鉄板で作られています。何か汚い感じがしますね。実はカモメ大橋は「耐候性鋼板」と言う、元々錆びた鉄板で作られています。「耐候性鋼板」は鉄にCu、Cr、Niなどを混ぜ、表面だけ錆びの酸化被膜を形成させ、それ以上鉄板内部に錆が進行しない、優れた材料なのです。古い銚子大橋などは、毎年、橋梁の塗装工事をして、膨大



第2790地区

ガバナー 櫻木英一郎 (千葉RC)

広報・会報委員会 委員長 上総 泰茂

副委員長 高瀬 幸雄 委員 阿天坊俊明・小田島國博

な手間と金額を使っていたましたが、カモメ大橋はその必要がないという訳です。しかしながらカモメ大橋が錆び色ではちょっと変だと思いませんか。まだまだ、金属に関して面白い話は沢山ありますが、またの機会にしたいと思います。

幹事報告

【週報拝受】八日市場 RC

1. ロータリー財団の専門家グループ (Cadre) - Tech Talk
2. RLI パートⅡ及びⅢご案内
3. ガバナーエレクト事務所開設のご案内
4. フェロシップ交流会のご案内 (再送)
5. フェロシップ委員会『里山歩き』のご案内
…以上、ガバナー事務所
6. 市民バザール大会寄附金品についてのお礼
…第 36 回銚子市民バザール大会実行委員会
7. うみなり第 50 号拝受
…銚子地区保護司会
8. ちば里山新聞第 4 5 号
…NPO 法人ちば里山センター

会員の記念日

◆結婚記念日

信太秀紀会員(10月10日)
小林昭弘会員(10月10日)

◆入会記念日

栢尾 茂会員(10月13日)

◆創業記念日

金島 弘会員(10月8日)
宮内秀章会員(10月10日)

ニコニコBOX

◇地区米山記念奨学委員会副委員長山崎浩一様



本日はよろしくお願ひします。

◇鴨志田明人会員



太陽の里での観月会有難うございました。皆様と見たとても大きな月は一生涯忘れない記念の会になりました。これからもよろしくお願ひ致します。

卓話

国際ロータリー第 2790 地区 米山記念奨学委員会 副委員長山崎浩一様 (佐原香取 RC)



皆さんこんにちは。私は、今年度地区米山記念奨学委員会の副委員長を仰せつかっております佐原香取 R.C. の山崎でございます。昨年もこのコンビでお邪魔させて頂きました。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、貴重な例会のお時間を米山奨学生卓話に割いていただき誠にありがとうございます。

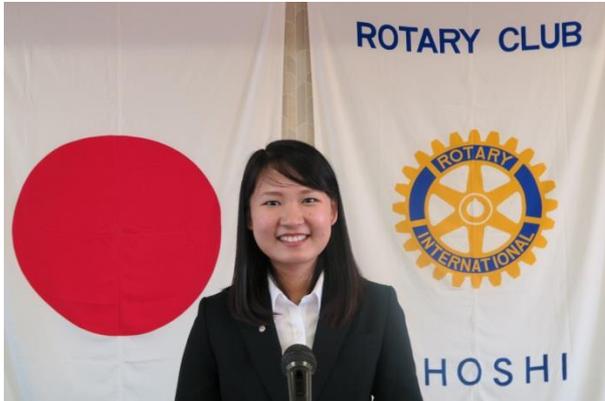
今年度、我々地区米山委員会は、3つの重点活動計画をたてました。1つ目は、大学奨学金担当者、指導教授へのロータリー活動と米山奨学金制度の目的趣旨の周知であります。今年の1月に今年度委員長の堀口とわたしは、奨学生の選考面接に携わりました。その時に指導教授の多くが推薦文の中で経済的困窮を理由に挙げていました。奨学会本来の目的趣旨と異なる視点をそこに感じました。そこで今年度は、7月に指導教授に対しセミナーを開催しロータリー、米山奨学金制度について説明をし理解を求めました。そして、研修会終了後にカウンセラーとも面談していただき世話クラブの例会出席をも求めました。まるっきり坂本先生には、不必要なプログラムだったのですが研修会終了後に坂本先生からこういう事は、必要ですね。と言っただき我々も勇気ができました。ありがとうございました。

2つ目に奨学生に対してもロータリー、米山奨学金制度の目的趣旨の周知をかかげ、例年より一つ研修を増やしました。今年度は、6月にロータリー活動について昨年度地区幹事長を務められました始平堂様にお願ひしみっちり研修していただきました。

そして3つ目は米山奨学生と世話クラブ・校友会との継続的関わりの育成であります。奨学生には、6月の研修会以降、ロータリー活動、米山奨学金制度について理解を深め、将来、母国と日本との懸け橋となって国際親善、国際平和の為に尽くす自覚を訴えてきております。それは、いきつくところ奨学生と世話クラブ・校友会との継続的な関わりをいかに考え、育てていくかという事に繋がるかと思ひます。奨学期間が、終わってから考えるのではなく、卓話の内容を考えるこの機会に奨学生自身が自分を見つめ、自分で考える様にアドバイスをしてきたつもりです。皆さんは、昨年もピョーさんの卓話を聞いていらっしゃる筈でございます。彼女は、継続奨学生ですのでロータリアンとの1年半の交流を経験した彼女が、今年度はどんな卓話をす

るのか是非期待してみてください。決してピョーちゃんにプレッシャーをかけた訳では、ありませんよ。それでは、ピョーさんいつも通りの笑顔で宜しくお願い致します。

「日本とロータリーとの出会い」
米山奨学生 ピョーサンディマウン様
(千葉科学大学・銚子東 RC)



皆さんこんにちは。千葉科学大学のピョー・サンディマウンと申します。出身はミャンマーのヤンゴンです。去年も銚子ロータリークラブで卓話することが出来たので、大変光栄に思いました。今年も、再び誘われて、また、地区の委員に指名され、今年度も成田空港南ロータリークラブでお話することになりました。お誘いくださいまして、この場を借りてお礼を申し上げます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私の母国ミャンマーは東南アジアの国で、インド、中国、タイ、ラオス、バングラデッシュと国境を接している国です。人口は約5千万人いて、ミャンマー民族やその他の少数民族、そして、中国系の人やインド系の人々等多くの民族が住んでいる多民族国家です。共通言語はミャンマー語で、日本からの距離は飛行機で6時間半ぐらいかかります。面積は日本の2倍ぐらいです。

まだまだ発展途上の国ですが、2011年にミャンマーは、テイン・セイン大統領による政治・経済改革によって軍事政権から民主化され、ようやく世界の注目を集めるようになりました。日本からも、大企業を始め多くの中小企業も、ミャンマーへの進出・経済投資を積極的に行っています。その為、ミャンマーで日本の企業が増えてきた他に、日本語を勉強している学生のためにも、前と違って留学プログラムとか、日本企業から直接ミャンマーの大学に来て採用するなど、色々なチャンスも増えてきて、心の底から喜んでいきます。

このように両国は大変親密な関係ですが、私が日本という国を初めて知ったのは、子供のころから使っていたテレビや冷蔵庫等からでした。とても丈夫で、今でも実家で問題なく頑張ってくれています。自動車も、日本からの中古車輸入が多くて、子供のころの写真を見るとその時乗っていた車にも日本語で自家用と書いてあるなど、本当に身近な存在でした。そして、日本語を

勉強し始めたのは、母国でヤンゴン外国語大学の日本語学科に入ってからです。前から商売や貿易に興味があり、話せる言葉を増やす事は、将来仕事をする上で一つの武器になると思い、中学生の頃から中国語と英語を積極的に勉強して、大学も日本語専攻でヤンゴン外大を選択しました。大学在学中に国際弁論大会に参加したときに今の大学のことを知ったのです。アジアで唯一の危機管理学部があることと、災害が多い時代に環境危機管理に関して勉強できるということに魅力を感じて、日本へ留学を希望しました。その大学で勉強する危機管理という学問にはリスクマネジメントとクライシスマネジメントというのがあります。リスクマネジメントというのは危機が発生する前の事前に対応することで、クライシスマネジメントというのは危機が発生した後に、どうすれば被害を最小限に抑えられるか事後対応のことです。危機というのは私たちの身の回りで常に発せしうる事なので、リスクマネジメントに関して勉強するのも将来仕事をするうえで役に立つかもしれないと思い、今の大学に進学することを考えていました。

そして、当時は、ミャンマーから日本の大学へ直接進学するには難しかったので、まずは、日本の大学に直接入学できるチャンスを掴んで、企業に入った後でも活かせる危機管理について知識を身に付け、就活を通して貿易関係の仕事に就きたいと思っていたのです。

その話を両親に言った時、私は3人兄弟の末っ子で、また日本では2011年に東日本大震災があった上に、私が入学したいと思っていた大学も目の前が海ということもあって、親、特に母に大反対されました。しかしどうしても日本に行って、色々チャレンジしてみたい、将来日本とミャンマーのビジネスにも懸け橋になりたいという熱意が強かったので、両親を何度も説得し、ようやく日本に来られました。今年は4年目になります。

今通っている大学に成績と大学活動で優秀な3年生の留学生二人の親を大学から日本に招待する制度がありますが、実は去年の夏に私が受賞し、両親が日本へ初めて来ることができました。私も両親の通訳兼ガイドの役で北海道や、鎌倉等へ観光に連れていきました。親に自分の大好きな日本を色々紹介できたので、とても嬉しかったのです。両親も自分が住んでいる町、アパート、通っている大学、また安全で交通機関も発達している日本の事を身を持って実感し、一安心したようです。

今は大学4年生で、ようやく第一希望の三栄コーポレーションという専門商社に総合職として内定を頂く事ができました。浅草にある会社で、家具や家電、またブランド商品を取り扱っています。工場は東南アジアにあり、日本、または欧米を中心に販売を行っている会社です。私の夢は入社して、日本人の考え方やノウハウを学び、経験や知識を積んだ後に、将来は母国だけでなく、安全で品質が素晴らしい製品を多くの国

へ届ける事ができるように海外営業にも携わりたいという事です。いつかは、ミャンマーへも日本の製品を輸出し、日本で受けられそうなミャンマー製品を日本に輸入したいです。

米山奨学生になって、ロータリーと御縁を繋ぐことができたのは、今年だと二年目です。この二年間の間に奨学金をもらって、物価が10倍違う日本での暮らしには経済的に助かっただけでなく、いつも指導してくれて、相談に乗って下さるカウンセラー先生もいて、常に温かい言葉で心配ってくださる世話クラブのロータリアンもいて、本当に心強く感じます。

米山奨学生になって、ロータリーのこともっと理解するように行われる様々なイベントもありますが、先週の土曜日にも、ロータリーデーとして、地区が開催するBBQ会へ同じ大学の友達3人を連れて参加しました。地区の方々や、卒業した元奨学生や、現役奨学生やカウンセラー、またその方々の家族や友人等大勢参加したので、ロータリーのことを最理解できる環境で、交流会ができたと思います。その帰りですが、バスが運行していなかったため、友達と四人でタクシーに乗って近くの駅まで行くことにしました。その運転手さんの話なのですが、とっても親切な人で、遥々遠くの国からやってきた私たち留学生に頑張ってほしいという事で、特別にコーヒーを全員にご馳走してくださいました。初めは、運転手さんの見た目がいかにも逞しい感じで、緊張してしまっていたのですが、話しているうちに日本人の「おもてなし」の精神を改めて感じる事が出来たのです。将来、自分もそのおもてなしの心を母国の人たちにも伝えたいと思いました。

それに、米山記念奨学金を頂いてから、日本文化に関してたくさん触れ合える機会も多いので、幸いです。例えば、日本の文化では一緒にご飯を食べるとき、お互いに飲み物を注ぎ合うという礼儀正しい習慣があるとか、注ぐときはその飲み物のブランドの名前を上向きにして注ぐとか、日本文化に関して大変勉強になりました。カウンセラーとも距離が近くて、正月の時もカウンセラーのお宅で大晦日の一家団欒に参加させていただき、正式なお正月の料理を食べられたのも初めてでした。カウンセラーの家族皆様も優しい方々で、話も盛り上がり、素晴らしい初めての日本のお正月を過ごせたのです。それに初めての節分の経験とか、ひな祭りの時も世話クラブのロータリアンに招待されて、人生初のひな祭りを体験することができました。華やかなチラシ寿司も、ひな人形の前で話すのも初めてで、日本文化について勉強になり、日本をもっと面白く感じるようになりました。

ロータリアンと会うたびに文化に関しても、社会人のマナーに関しても、他人のために常に考えて行動する奉仕の精神についても、勉強になり、留学生時代ではなかなか体験できないこともたくさん経験できていると思います。そして、私たち奨学生も皆様の寄付金でもっと勉強に集中できる環境ができ、日本の事について

も色々知識が増えるようになりました。どうもありがとうございます。今後、社会人としても、四つのテストである1. 真実かどうか、2. みんなに公平か、3. 好意と友情を深めるか、4. みんなのためになるかどうかという事を心に刻んで生きていきたいと思っております。これからの奨学生期間は半年しか残っていませんが、奨学生期間が終わった後にも、米山奨学生学友会にはいり、ロータリー、そして世話クラブとの交流をますます深めていきたいです。将来はロータリアンになって、ロータリーとのご縁を長くつなげていきたいと思っております。ご静聴どうもありがとうございました。

※元米山奨学生マユカ君の近況報告は次号に掲載します。

委員会報告

櫻井公恵親睦活動委員長

RID2790 地区フェローシップ交流会のご案内



日時：11月13日(金) 14時
第1部 エド山口氏の講演
第2部 趣味別のグループ交流
場所：千葉市男女共同参画センター3階

※地区内初めての趣味グループ作りです。ぜひ興味のある方はご参加下さい。

【出席報告】

会員総数 44名

出席計算 41名 出席 32名 欠席 9名

出席率 78.05%

欠席：伊東君・越川君・丸山君・宮内(秀)君
宮内榮君・宮崎君・杉山君・富永君・植田君

【M U】

10/10：奉仕Pセミナー

石毛君・宮崎君・松本君・高木君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 13,000	計	¥ 236,800
スモールコイン	¥ 3,050	計	¥ 21,958
米山BOX	¥ —	計	¥ 19,575
希望の風	¥ —	計	¥ 114,100

台風18号による洪水被害義捐金

クラブより2万円地区へ送金しました。

社会奉仕委員長 宮崎裕光

次週のプログラム(10月28日)

「旭ロータリークラブについて」

旭ロータリークラブ会長 神崎 薫様

お弁当：入船(幕の内)